

名誉市民候補者 竹本駒之助氏の紹介



- 本名 上田悦子
- 市福永出身 82歳女性
- 現住所 神奈川県秦野市
- 女流義太夫 現役で活動
- 平成11年人間国宝に認定

竹本駒之助氏の紹介①

- 淡路人形浄瑠璃発祥の地である市地区で生まれる
- 義太夫が盛んな地区、母親が義太夫好きであったことが影響し、中学校に入ってから義太夫を習い始める
- 中学3年の14歳で大阪に出て、女流義太夫の竹本春駒の内弟子となり、竹本駒之助を名乗る
- 十代豊竹若太夫や八代竹本綱太夫をはじめ、文楽の名だたる師匠方に師事する

1950年 (S25) 市村劇場 竹本駒之助命名披露興行



竹本駒之助氏の紹介②

- 昭和27年（17歳） 二代鶴澤三生を相三味線に東京で演奏活動をはじめ
- 昭和28年（18歳） 文楽の三代豊竹つばめ太夫（のちの四代竹本越路太夫）に師事する
- 昭和34年（24歳） 鶴澤三生の長男と結婚し、活動拠点を東京に移す
- 昭和45年（35歳） 四代竹本越路太夫の女性唯一の門人となる

竹本駒之助氏の紹介③

- 昭和49年（39歳） 社団法人義太夫協会理事に就任
- 昭和53年（43歳） 国立劇場の歌舞伎音楽講師
- 昭和58年（48歳） 社団法人義太夫協会副会長に就任
- 平成 8年（61歳） モービル音楽賞を受賞
- 平成11年（64歳）

**重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」
個人指定保持者（人間国宝）に認定**



竹本駒之助氏の紹介④

- 平成15年（68歳） **紫綬褒章を受章**
- 平成20年（73歳） **旭日小綬章を受章**
- 平成21年（74歳） 文化庁芸術祭賞優秀賞（レコード部門）を受賞
- 平成24年（77歳） 神奈川文化賞を受賞
- 平成25年（78歳） 義太夫節保存会会長に就任

竹本駒之助氏の紹介⑤

- 平成27年（80歳）
文化庁芸術祭賞大賞
（音楽部門）を受賞
- 平成29年（82歳）
文化功労者に選出



平成29年 文化功労者顕彰式

竹本駒之助氏の紹介⑥

早稲田大学演劇博物館
招聘研究員

神津武男博士による評価

- 竹本駒之助氏の技芸は、「義太夫節」の理想的な姿を今に体現している
- 日本の芸術文化に携わるひとびとにも認められることは明らかである
- 淡路人形座の活動を支援している

竹本駒之助氏の紹介⑦

淡路人形座支配人 坂東千秋支配人からの情報

- 鶴澤友路師匠との親交
- 淡路人形浄瑠璃の発展とPR
に寄与

(平成23年1月中央公民館)

淡路人形浄瑠璃「早替わり」芝居復活公演では、
ふたりの人間国宝竹本駒之助氏と鶴澤友路師匠の対談が実現



竹本駒之助氏の紹介⑧

淡路人形座支配人 坂東千秋支配人からの情報

- 淡路人形座柿落し公演に向けて、数日滞在し、座員と稽古を積まれたほか、舞台衣装を寄贈
- 義太夫協会の東京定期公演に座員を招聘



竹本駒之助氏の紹介⑨

南あわじ市での公演実績



- 昭和25年 竹本駒之助命名披露興行（市村劇場）
- 平成23年1月 淡路人形浄瑠璃「早替わり」芝居復活公演（中央公民館）
- 平成24年7月 淡路人形座柿落し公演（淡路人形座）
- 平成25年9月 竹本駒之助里帰り素浄瑠璃公演（中央公民館）



竹本駒之助氏の紹介は以上
で終了です。